

巻頭言

国立大学法人としての再出発にあたって

センター長 井上明久
青木晴善
落合 明
野島 勉

本年度より、極低温科学センターは東北大学法人の共同教育研究組織として再出発いたしました。学内の共同教育研究組織は教育基盤施設群および学術基盤施設群の2つに大別され、それぞれの群の中で一体的な運営の充実を図ることとなりました。当センターは学術基盤施設群に属し、今後、研究支援および教育・研究活動におけるより一層の改善を行うとともに、組織の再編・拡充も視野にいれて活動していくことになっております。

液体ヘリウムの供給につきましては長年の懸案であった青葉山地区のヘリウム回収網と各部局の建物へのつなぎこみも昨年度完了し、全学的な回収配管によるヘリウムガス回収体制が整いました。この回収網を有効活用し、液体ヘリウム供給業務の効率的な運営を行っていきたいと思っております。特に、回収率の向上は、金銭的な面ばかりではなく、貴重な天然資源であるヘリウムガスを有効活用する観点からも重要でありますので、今後、特に力を注ぎたいと思っております。さらに、共同利用のための研究設備を充実させ、学内の教育・研究活動の向上に、より大きな貢献をしたいと思っております。

また、理学研究科などの関連部局と連携し、今後とも教育に積極的にかかわり、重要な役割を果たしたいと思っております。研究面におきましても、センター独自の研究を展開するとともに、センターのポテンシャルを活用した共同研究を通じて学内で進展する重要な研究に貢献することを目指したいと思っております。

センター職員一同、目標達成のために、より一層の努力をする所存でございますので、今後とも、御指導、御鞭撻とともに、本センターの運営に御支援を賜りますようお願い申し上げます。